

平成 22 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 横浜魚類株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石井 良輔
 (J A S D A Q ・ コード 7443)
 問合せ先責任者 管理部部長 塚本 秋宏
 (TEL 045-459-3800)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月20日付当社「平成23年3月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。また、平成23年3月期第2四半期(平成22年4月1日～平成22年9月30日)において繰延税金資産の取崩しを行うことを合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	21,400	△30	40	20	3.19
今回修正 (B)	20,629	△75	△2	△116	△18.62
増減額 (B-A)	△771	△45	△42	△136	—
増減率 (%)	△3.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	22,374	△90	△19	△24	△3.89

(2) 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	44,500	50	190	50	7.98
今回修正 (B)	43,300	0	140	△20	△3.19
増減額 (B-A)	△1,200	△50	△50	△70	—
増減率 (%)	△2.7	—	△26.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	46,596	△62	75	40	6.40

(3) 修正理由

(第2四半期累計期間)

水産物流通業界におきましては、個人所得の減少等による消費者の節約志向の継続等により、大変厳しい状況となりました。

この様な状況におきまして、当社は顧客ニーズに応ずるべく積極的営業を行いましたが、主として販売数量の減少により、売上高は計画未達になる見込みとなりました。

損益につきましては、売上高減少に伴う粗利益の減少を諸経費の削減で補えず、営業利益、経常利益ともに赤字となる見込みになりました。また、最終損益につきましては、投資有価証券売却益 275 百万円計上しましたが（平成 22 年 7 月 5 日公表済み）、繰延税金資産取崩 355 百万円行うことにより、116 百万円の赤字となる見込みとなりました。

(通期)

下半期は、当社にとりまして繁忙期であり市場内外に積極的営業を行いますが、売上高につきましては、販売数量の減少は継続するものと考え、下半期も下方修正いたします。

損益につきましては、下半期は利益率の高い商品の販売が見込めることから、営業利益、経常利益とも上半期ほどの悪化はないものの、当初計画を下方修正いたします。また、最終損益は上半期と同様の理由により、20百万円の赤字に下方修正いたします。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産のうち翌期に解消出来るものを除き取崩すことといたしました。これにより、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、355 百万円を法人税等調整額として計上いたします。

以 上